報告書 (需要の拡大) (花育体験、園芸体験)

概要	メニュー	(3)ーイ 花きの活用促進のための花育体験、園芸体験		
	取組名	子ども「らん育」プロジェクト		
	戦略品目	コチョウラン		
	実施日	2024年6月7日(金)～2025年1月29日(水)	実施場所	豊橋市立高根小学校 豊橋市立くすのき特別支援学校
	実施目的	地域で生産されている花や緑に触れ育てる機会をつくり、開花までの一連の栽培活動に関わることで、「生命の尊さ」や「やさしさや美しさ」を感じる気持ちを醸成するとともに、これを契機として日常における花きの活用拡大、消費金額の増加につなげる。		

内容	内容	<p>はなわくJAPAN(豊橋市花き園芸振興協議会の洋らん部会)が豊橋市立高根小学校(対象・4年生児童 35名)、くすのき特別支援学校(対象・高等部生徒 39名)に出向き、花育教室を実施した。</p> <p>■内容 【共通】 ・各校の児童・生徒一人ひとりがコチョウランの苗から開花までの約3ヶ月間、灌水や花茎の誘導等の栽培について学習し、花を咲かせることを体験し、大切な人(保護者等)へプレゼントをすることで、花への関心を深め親しみを感じてもらい、コチョウランの需要拡大を図る契機とする。併せて自ら植物を育てることで情操教育としての効果も得られた。</p> <p>【高根小学校】 ・高根小学校の所在する地域は洋ラン生産が盛んな地域であり、学校とハウスをつないだリモートにより質疑応答を交えた授業を実施し、後日、実際の生産現場を知るハウス見学を実施した。 また、コチョウランを地域の人にPRするため壁新聞を作成し、「道の駅とよはし」をはじめ公共施設等に壁新聞と一緒に児童が育てたコチョウランを展示し、更なるPRに努めた。 ・花育体験終了後の保護者アンケートでは、「癒しや、部屋の雰囲気明るくなったと感じる。」家庭が最も多く、次いで「生花店や園芸店に行く機会を増やしたい」と続き、花・緑に対する関心が深まった状況がみられ、花育体験前後では花きの購入者数は伸びた(3人→6人)結果となった。</p> <p>【くすのき特別支援学校】 ・生徒へのアンケートで「らん」など植物を育てる仕事をしてみたいと回答した生徒もあり、花育体験の副次的効果として農業(花き)への興味・関心を寄せ、将来の職業選択の一つとして、就農等の農業人材確保に向けた端緒となったと考える。 ・保護者アンケートでは、花育体験前後の購入状況では、花きの購入者数は伸びており(7人→8人)花育体験を契機として花きに対する意識変化、花きの購買に貢献できたと思われれます。</p>		
	参加者数	豊橋市立高根小学校 豊橋市立くすのき特別支援学校		
	成果	<p>参加者の消費金額の増加</p> <p>豊橋市立高根小学校 72.3%増(321円/月→553円/月)</p> <p>豊橋市立くすのき特別支援学校 28.4%増(475円/月→610円/月)</p>		
	今後の課題	コチョウランを多くの人に知ってもらい、買ってもらうため、花育体験実施校による地域への更なるPRを展開してもらおうことで、コチョウランを始め花き全体の購買につながるものと考えられる。		
	検討会	実施日(事前)	高根小学校2024年6月7日 くすのき特別支援学校2024年7月8日	実施日(事後)

計画	内容	・日程調整 ・開催内容の検討	内容	・児童生徒及び保護者アンケート依頼 ・今後の課題 ・成果の普及方法
	調査・分析方法	参加者に対する購買行動の変化に関するアンケートの実施		
	成果の普及方法	アンケート分析に基づく取組成果の資料作成及びホームページへの掲載を行った。		
	検討会	高根小学校2024年6月7日 くすのき特別支援学校2024年7月8日

事前打ち合わせ(令和6年6月7日)

リモートでのハウス見学(ハウス⇄学校)(令和6年9月13日)

ハウス見学(いとう園芸)(令和6年9月27日)

①花育授業(令和6年10月11日)

②花育授業(令和6年11月5日)

③花育授業(令和6年12月10日)

事後打ち合わせ(令和7年1月24日)

くすのき特別支援学校

事前打ち合わせ(令和6年7月8日)

①花育授業(令和6年10月7日)

②花育授業(令和6年11月11日)

③花育授業(令和6年12月9日)

写真

写真

事後打ち合わせ(令和7年1月29日)